アメリカ
住宅産業情報
2005年 春
第19号
日本のお客様とアメリカを結ぶ日本語版情報誌
発行：米国ワシントン州政府通商経済開発局

目　次

NAHBインターナショナル ビルダーズショー2005 フロリダ州オーランド…… 1
ウッドワード・レジデンス－手頃なリサイクル製品とデザインを兼ね揃えた住宅 …… 2
ホーム・リモデルでグリーンな住宅をつくる ……3
日本住宅におけるサスティナブルなデザインと建築 …… 4
アメリカン・リアル・ウッド・デザイン ……6
MEET EBPA ……10
日本の商業用施設における北米木製窓の適用性……11
マナーク・ホールディングスがハード・ミルワークを買収……11
特定非営利活動法人（NPO）日本ティンバーフレーム協会富津研修センター（ショールームオープン）……12
American Houses住宅視察ツアー……13

広告ページ一覧

YAMASO ―― 1
ウェスタン・パシフィック・ビルディング・マテリアルズ　2
キャロリーク ―― 3
MK USA INC. ―― 5
パックリム・ビルディング・サプライ ―― 8
シンプソン ―― 9
アームストロング ―― 16

NAHBインターナショナル ビルダーズショー2005 フロリダ州オーランドで開催

今年もインターナショナル ビルダーズ ショー2005 が1月13日から16日まで、フロリダ州オーランドにおいて計95カ国から過去最高の10万人を超える来場者を迎え開催されました。世界最大の建築業界展示会であるこの展示会には、15万㎡の会場に1,600社を超える企業が出展、会場内では建築産業界から300業種を超える最新の先端技術を採用したあらゆる製品やサービスが集結・展示紹介されました。

また18の業種から200以上ものワークショップが住宅建築や建築業ビジネスのノウハウを披露。その他にも、それぞれの来場者が建築工法や基準法、コンストラクション・マネージメント、ランドスケープ開発など250以上あるセミナーを熱心に聴講したり、15以上のレセプションや授賞式等のスペシャルイベントで業界ネットワークを広げたりして、多くの建築業関連者がそれぞれ各自の企画する将来の建築プロジェクトに、実用的なツールやノウハウを持ち帰りました。在大阪・神戸アメリカ総領事館の上席商務専門官、高畑和久氏も日本から29名の業界関係者を引き連れ参加された他、一般でも多くの企業やグループが日本から訪れました。

ペラ（窓）社のブース

（14ページ上段につづく）

2005年夏季住宅視察ツアー開催 ２日間＋１日オプションでアメリカ住宅を視察ざんまい！

エバグリーン建築資材貿易振興会(EBPA)主催7月のアメリカ住宅視察では、シアトル「アメリカ住宅ざんまい」をご体験ください。国内外で定評の高い高級住宅展示「ストリート・オブ・ドリームス」とベテラン建築家による注文戸建住宅などを十二分にご覧いただきます。(建材の個別商談や現地資材調達ご希望の方もご案内可能です。)

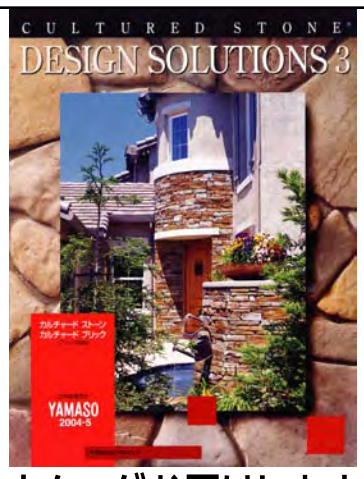
同時期にシアトル・マリナーズの試合観戦も予定しています。詳しくは13ページをご覧の上お問い合わせ下さい。

2004年、視察ツアー参加者の声：(↗)

(↘)「すごい、やっぱり来てよかった！」

「ドライウォール内装仕上げの色使い・表面仕上げのバリエーションの多さ、使い方の斬新さに驚きました。また木製の内装・外装仕上げについても同様でバリエーションとその組み合わせが日本では普通ない、すばらしいものと思います。」

アメリカでシェアNo.1。
※(セメント系人造石)
日本に登場して24年。
信頼と品質のブランド。
※米国"ビルダー"誌調べ



カタログお届けします。

カルチャード ストーン
CULTURED STONE®
by YAMASO
日本総発売元／山宗製陶株式会社
本社・配送センター　〒479-0833　愛知県常滑市北条1-164　TEL0569-34-6136　FAX0569-34-6123
ZUMAズマ〈ショールーム〉〒150-0011　東京都渋谷区東3-22-8　サワダビル8F　TEL03-5485-5381　FAX03-5485-5325
www.yamaso-st.co.jp

連絡先：米国ワシントン州政府通商経済開発局日本事務所
〒105-0001　東京都港区虎ノ門5-4-8-301　TEL：03-5776-7766　FAX：03-3459-0897
e-mail：wsjoban@gol.com　http://www.oted.wa.gov/trade/jpn_housing/
担当：伴（ばん）宜子　Contact：Noriko Ban

エバグリーン建築資材貿易振興会 日本事務所
〒105-0001　東京都港区虎ノ門5-4-8-301
TEL：03-3459-0898　FAX：03-3459-0897
e-mail：ebpa@mue.biglobe.ne.jp　http://www.ep.org/
担当：梶田　章　Contact：Akira Kajita

ウッドワード・レジデンス
－手頃なリサイクル製品とデザインを兼ね揃えた住宅－

ウッドワード・レジデンスは、ダウンタウンシアトルから8km南へ位置した商業、住宅地区にあります。周囲の住宅はほとんどが40年から50年前に建てられた比較的小さい平屋建てです。このウッドワード・レジデンスは、オーナーである建築家の若いカップルによってデザインされ建てられました。この家は、オーナーの環境保護に対する配慮と耐久性に優れた技術が反映されています。限りある予算の中で、この地域の比較的安い土地と建築資材の節約によって建てられました。多くのリサイクル建築資材が使われた結果、耐久性と予算の配慮に成功しました。

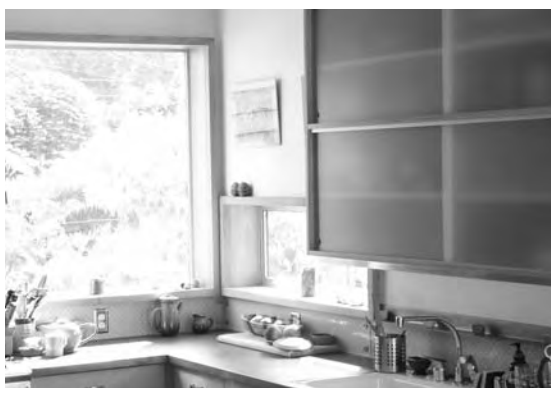
この家は、15ヶ月の建築期間と250,000ドル（約2千5百万円）の経費で建てられました。2ベットルームとホームオフィススペース（ベットルームにも可）で構成され、全床面積は157m²。建築構造はSIPパネル（断熱構造パネル）を使い、外壁にはハーディパネルを使用しています。

まれな特徴として、リサイクルの石板が玄関の床とキッチンの調理台、バスルームに使われています。この石板は、地元のリサイクル建築資材店から購入され、もとはシアトル地区の学校で黒板として使用されていたものです。その他のリサイクル製品はシャワールームやバスタブ、タイルなどに使用されています。多くの備え付け照明器具もリサイクルされています。

屋根には小さいデッキと庭があります。雨水が屋根をつたって地下の水槽に貯水され、これが庭の水まきに使われます。

暖房は床暖房システムになっています。（↗）

リビングルームの窓には、高水準の自然光と夏に涼しさを保つ換気システムがエネルギー効率対策として施されています。


キッチンカウンターはリサイクル石板から造られ、この石板はシアトルの学校で黒板として使用されていたものです。

ハーディパネルは外壁に使用。雨水は屋根から水槽に貯水され、庭の水まき用として使用。

（↘）オーナーはこの敷地に以前あった古い小さい家を壊しましたが、建築期間中にこの敷地内に住むことができたことで、経費を最小限にとどめました。このオーナーカップルは、2003年の6月にこの新築住宅に移り住みました。

21人の日本人建築家とデザイナーたちが、2004年8月30日にエバグリーン夏季住宅視察ツアーの一環として、このウッドワード・レジデンスを訪れました。

エバグリーン建築資材貿易振興会日本事務所代表、梶田 章氏と、所有者の一人でありこの家をデザインし建築したGeoff Belau氏。

南シアトルにあるこのウッドワード・レジデンスは、オーナーの環境保護に対する配慮と耐久性に優れた技術が反映されています。

ウッドワード・レジデンスのリビングルームは、6mの天井が特徴となっています。（エバグリーン夏季住宅視察ツアーでの視察の様子。）

住宅建材を専門とする信頼できるホールセラー（卸し売り）会社

Western Pacific
West Pac

ウエスタン パシフィック ビルディング マテリアルズ

ウエスタン パシフィック、より広いビルディングに移転！
2,900坪の倉庫にて4,000種類以上の建材の在庫と敏速な出荷。

・大手建材メーカーから直接購入出来る会社規模と購買力
・150名の社員からなる機動力
・自社内のドア吊り込みの機械にて、敏速なプレハングドアの出荷
・日本だけでなく、アメリカ国内のホームビルダーからも厚い信頼を得ており、毎年、アメリカ高級住宅展示会「ポートランド・ストリート　オブ　ドリーム」にも、資材を供給しております。
・日本との取引歴も長く、お客様との信用関係を重視しております。
・日本語の話せる社員が常勤

Western Pacific Building Materials, Inc.
2805 N.W. 31st Avenue, Portland, Oregon 97210 USA
電話番号：アメリカ 503-224-9142・FAX番号：アメリカ 503-241-3858
Eメール: westpac@yahoo.co.jp　日本語／英語とも可

弊社の商品カタログを御希望の方は、会社名、住所、電話番号、ファックス番号を弊社にファックス又は、Eメールにてお送り下さい。

ホーム・リモデルで グリーンな住宅をつくる

リモデルを考えるとき、その企画・意思決定には様々な要因が絡む。従来はデザインの良いことや機能性、価格などがそれらの要因に当てはまっていたのだが、近年ではグリーンビルディングやヘルシーで環境に良いという住宅に高い関心が寄せられるようになり、建築関係者の住宅等建築計画にも影響するようになった。多くのグリーンビルディングのエキスパートは、そのような意識の高い建築物は大変美しくて耐久性があり、環境に優しく、また高い資産価値があると考えている。

グリーンビルディングのコンセプトに共感したヘザーとレスリーのカップルのリモデル体験から、どのようにして環境や健康を害することなくグリーンなリモデルを成功させることが出来るかを探ってみる。

2003年この二人のカップルは、審美性・耐久性・ヘルシーと環境に優しいことを意識しながら、シアトル市キャピトル・ヒル地域にあるクラフトマン・スタイルの住宅をリモデルした。二人は、日常的に自分たちの行動が環境にどのような影響を及ぼすかを意識しながら暮らしており、住宅リモデルもこの意識の延長線上にあった。「今回のリモデルにおいても、グリーンビルディングが私たちの最優先事項であり、ゴージャスでモダンなスペースを創りながらも私たち地球の資源を保護したかった」とレスリーは言う。

この目的にかなうため、二人は自分たちの考え方に共感できたというシアトル市内のグリーンビルディング専門家、Velo-cipede Archi-tects社に協力を依頼、リモデル計画の企画・進行を任せた。

数多くの建築資材がシアトル市内の環境ホームセンター（the Environmental Home Center）や地元の資材サプライヤーから購入された。「資材をどんどん購入していくうち、環境に優しい製品や建築資材を見つけて入手するのが実はこんなにも簡単なことなのだと分かった。機能性も十分なだけでなく、見た目も大変美しいものばかり。プランニングから内装工事までの全ての建築段階で、サスティナブル（持続可能な）デザインと環境に優しい製品を基本とした。」このパートナーシップによって、二人は環境に優しいヘルシーな住宅を手に入れただけでなく、素晴らしい居住空間をも創造することができたと言う。

リモデル工事は、アティック（屋根裏部屋）を広げ居住空間を創り、ベッドルームとバスルームを新設した。また1階のリビングルームもリモデルした。内装材には、インドア・クオリティーを確保するため、オスモのハードワックスオイルや植物性ウッドフィニッシュなどの低害性のペイントや内装材を多用した。低害性内装は環境に良いのと同時に実用性もある。ハードワックスオイルは通常のポリウレタン塗料と

ベッドルーム

違い、プラスチック膜を張らないので部分的な補修が容易となる。また乾燥時に空気中に放出される化学薬品が微量で、室内の空気を汚染することもない。

また二人は、年輪も硬く美しいユーカリの樹種であるレッド・アイロンバークのフローリングなどのリサイクル材も積極的に採用した。その他の木材製品では森林管理認証のある製品やコークなどのリサイクル可能製品などを採用。コークは9年毎に採取されるオークの樹皮から製造されたもので、木そのものは伐採されず新しい樹皮が出来てくる。

レッド・アイロンバーク・フローリング

バスルーム（Photograph© 2003 The Taunton Press, Inc）

また変わった資材の再利用方法として、廃校になった学校の黒板をバスルームの床に取付け、フレンチドアは新規のドアを買う代わりにアンティークドアを取付けた。給湯システムは、シャワールームからの排水をヒート・リカバリー・システムに利用し、その他の給湯に利用できる。

このリモデルで最も目を引くのが2階のバスルームである。リサイクルされたガラスタイルを採用し、節水型デュアル・フラッシュトイレ、豪華なバスタブにシャワー、その他別室にはコークタイルフローリングのランドリールームがある。このバスルームは実に美しく仕上がっている。

ヘザーは、「リモデルは私たちの予想を遥かに超える満足した結果となった。環境ホームセンターやVelocipede Architects社の皆さんに大変感謝している。」と述べた。

環境ホームセンターのショールーム

環境ホームセンター（EHC）とは…

環境ホームセンター（以下、EHC）は、シアトル市内でヘルシーでサスティナブル建築資材を販売し、全米各地にショールームとコールセンターを配置している。EHCはヘルシーで環境に良い高品質製品を低価格で提供することを目標とし、リモデラーやビルダーに数多くのウッドフローリング、カーペット、タイル、ペイント、キャビネットやカウンタートップなどの内装資材を提供している。その他、デッキ材やフェンス材、断熱材、合板などのパネル製品、防腐・防蟻材ランバーなどもある。ウェブサイトはwww.environmentalhomecenter.com

採用されたグリーン資材:

- 廃材のオーストラリアン・ハードウッドフローリング（レッド・アイロンバーク）と階段手すり（EHC）
- ナチュラル・コーク・タイル（EHC）
- 認証済みフレーミング・ランバー（Hampton Mills）
- 認証済みシーダー・ボード（EHC）
- ホルムアルデヒド・フリーのMDF 幅木、窓/ドアのトリム、窓台
- リサイクルのアンティークフレンチドアとポケットドア（中古）
- リサイクル断熱材（2種類: コットン・ブルー・ジーンズデニムのスクラップと新聞紙から作られたセルロース断熱材）（EHC）
- 低害性インテリアペイント（Best Paint Co.）（EHC）
- 植物性ウッドフィニッシュ（OSMO Hardwax Oil）（EHC）
- トレックスR デッキ・レイリング（木くずとリサイクルプラスチックが原料）

MDF装飾材

キャロリーク

薄型の電気ヒーティングパネル

薄型フィルム状のキャロリーク電気ヒーティングパネルは、一般住宅のメイン暖房としてご利用いただけます。キャロリーク薄型フィルムパネルは、省エネ効果に優れた放射型暖房を提供します。キャロリークを使用した床暖房や天井暖房には、以下のような利点があります。

・配管工事不要
・省エネ暖房
・部屋ごとに温度調整可能
・クリーン暖房－空気を乾燥させません
・維持費不用

薄型フィルムのヒーティングパネルは、各種サイズ、電圧、ワット数よりお選びいただけます。弊社では販売代理店および営業担当を募集しています。

CaloriQue, Dept. CN
2380 Cranberry Hwy
West Wareham, MA 02576 USA

TEL: 508-291-4224
FAX: 508-291-2299
info@calorique.com
www.calorique.com

Professional View プロフェショナル・ヴュー

日本住宅における サスティナブルなデザインと建築

ロジャー・ウィリアムズ
FAIA（米国建築者協会）・JIA（(社)日本建築家協会）会員
20年近くにわたり日本の住宅設計・建築に携わる。ワシントン州政府始め多くの日本政府機関や日本企業と提携。ミスーン社代表を退任し、現在はロジャー・ウィリアムズ・アーキテクト社として独立。

ロジャー・ウィリアムズ・アーキテクト代表
FAIA, rwilliams@rwadp.com
2210 19TH AVENUE EAST SEATTLE
WASHINGTON 98112
TEL:206-329-1061　MOBILE:206-915-8484
WWW.RWILLIAMS@RWADP.COM

ロジャー・ウィリアムズ氏

ROGER WILLIAMS FAIA JIA
ARCHITECTURE DESIGN PHOTOGRAPHY

「サスティナブル」という言葉は、一般的には経済的・政治的な意味合いで使われるが、建築業界では、維持や補修、基本的な地球環境保護要素の確保等の意味合いを持つ。サスティナブルな建築物とは、土地選定や建築過程、メンテナンスにおいて、天然資源を利用するがその使用量は最小限とする建築物のことを言う。

東急ホームがサスティナブルサイト開発でデザイン・建築した住宅。建設に先駆けての土地開拓は最小限になされた。

世界各地のその土地特有の伝統的建築物などは、ほとんどがサスティナブルであると言って良いが、それらの建物は通常耐久性があっても快適な空間とは言えない。“耐久性”と“サスティナブル”の決定的な違いは、耐久性が建物に使用されている材料の耐久期間から建物の寿命を指しているのに対し、サスティナブルは地球の生態系の寿命のことで、つまりは地球の寿命を指している。今の建築家の目指すべきゴールは、建物の性能や審美性、サスティナブル性を最大限に引き出すことができるテクノロジーを駆使することである。珍しいもの好きな一部の人々を除いては、1980年代のオイルショックでエネルギーの供給危機やそれに伴う価格高騰を実際に経験するまで、米国の人々の中で「グリーン・デザイン」という意識はほとんど見られなかった。断熱に関する項目がほとんど全ての地域の基準法に追記され、省エネ製品や暖房器具が次々と現れて、太陽光エネルギーが特に注文住宅のほとんど全てのサイズの建物に適用できるようになった。エネルギー危機がおさまった時、米国内の研究機関や科学者、少数の建築家の間でエネルギー節約や代替エネルギー源への関心が高まった。しかしエネルギー節約は数多くある環境保護問題のひとつにすぎない。空気や水の汚染は私たちの健康を害するばかりか、地球上のあらゆる種の存続にも関わってくる。

日本もエネルギーショックの影響を多大に受けたが、長年にわたり自国には限られた天然資源しかなく、多くをエネルギー輸入に頼ってきた日本には、燃料不足に対してはそれなりの準備があった。日本の発達した交通システムや高性能エンジン、代替エネルギー燃料などは、第2次世界大戦後から一種の慢性的な“エネルギー危機”にあったことを示している。また日本人の環境に対する意識の高さを表すものとして、京都議定書で知られる地球温暖化対策の国際会議開催が挙げられる。国民のリサイクル意識も高く、リサイクル用品は回収して収集・又は回収場所へ持ち込む等の厳しい規則が浸透している。工業面では、保存、製造過程、交通、工事など全ての面において高いリサイクル意識が働いている。

1950年代以降、日本は米国とは全く違った方法でエネルギー管理を行ってきた。日本の建築家は非住宅系建築物において、環境問題を解決するためのテクノロジーを積極的に駆使してきた。ソーラーパネルは至るところにあり、光電池の日本の生産量は世界一である。高度な技術を取り入れる理由の一つには、投資元金の回収期間にある。日本国内での燃料代や電気代は高いので、ソーラーパネルなどの高い製品を購入したとしても、米国よりもずっと短い期間で“元”が取れ、燃料費を節約し始めることができる。特に住宅業界において建築資材の観点から日米両国の二つの違ったサスティナビリティーへの取り組みを比較してみるのは興味深い。

上記のように、多くの環境問題において既に米国より日本の方が優れている。例えば小型の給湯システムなどは過去40年にわたり日本で広く普及しているが、米国では現在やっと普及し始めたばかりである。同じ事は節水トイレシステムにも当てはまる。TOTOはこの約10年の米国の1.6ガロン/分のウォーター・クローゼット（トイレ）市場をリードしている。蛍光性ランプはその登場と共に住宅ではスタンダードな製品となった。その他にも米国の住宅用に多くの省エネ製品が開発されるようになった。

しかしその一方では、これは私の不満でもあるのだが、壁や天井内に要求される断熱材に関する日本の基準法は、米国の基準法より20年は遅れている。床下には断熱材取付けが要求されていない。これらはエネルギー節約の基本的な有効手段であるのにも関わらず、あまり多くの役人やビルダーに認識されていないようだ。

日本のホームビルダーは、米国内の環境に優しい建物に深い興味をもって来た。彼らも私たちと同じように、より環境に優しい住宅購入層の増加に直面している。全米インターナショナルビルダーズショー（NAHB）でも、グリーン製品や広告があちこちで目に付く。しかしそれぞれの製品がどのように住宅設計に組み込まれるのか、またどの製品が一番経済的に優れているのかなどは複雑で見分けがつかない。そのような新しい製品の多くは特別な取り付けや動作環境が必要であったりして、どのデザインでも良いという訳ではない。米国の建築家や製品製造業者は、日本のホームビルダーに対してサスティナブルな建物のコンセプトやその要素などを説明しているが、サスティナブルデザインの要素の全てを教えてくれるプログラムソフトや基準システムなどは存在しない。

米国のサスティナブル・ビルディング・プログラムの内最も信頼できるのが、ナショナル・アソシエーション・オブ・ホームビルダーズの「ビルド・グリーン tm」と、ポートランドにあるグリーン・ビルディング・カウンシルの「リーディング・エンバイロメンタル・アンド・デザイン（以下LEED tm）」である。このシステムは、何がグリーン・ビルディングの構成要素となるかの全米基準を確立する活動をしている。最終目的は既に確立された革新的な経験や基準、テクノロジーを用いて、建物の占有者の福利、建物の経済的リターンや環境的性能を向上させることにある。これらのプログラムを建物のオーナーや学会、協会、政府機関、建築業界全体に広く普及させることで、多くの資産価値を提供することが出来る。企業は環境に対する意識を持っていることで、顧客や消費者、公衆からも良いイメージを得ることが出来る。“認証ラベル”は環境的性能が良く、査定された基準に従っていることを証明するものである。これが、日本の企業が大変積極的にサスティナブル製品や理論を習得しようとする大きな要因となっているようだ。

“LEED”と“ビルド・グリーン”は、全体的な項目と評価ポイントを与えるサブ・カテゴリーに区分されている。各評価文書は、基本的な目的、要件と添付資料からなり、それぞれの建物の設計や構造の内容でクレジットやポイントを得る。総合ポイントは開発や建物が認定されたかどうか、もし認定されていればどの認定レベルかで決定される。例えば、「ビルド・グリーン」では1から5までのレベルを星印で表示している。「LEED」では、単なる認定から始まってシルバー、ゴールド、プラチナと上がっていく。認定ターゲットはそれぞれ違っており、ビルド・グリーンは住宅構造のみの認定で、LEEDは1999年の創立当時は病院や大学などの施設や商業用建物が対象であったが、現在は住宅に関しても試験的に始め、2005年には住宅とインテリアデザインについても本格的に認定を始める予定である。

LEEDのカテゴリー

サブスティナブルな土地
水効率
エネルギーと環境
資材と資源
室内環境の質
新企画とデザインプロセス

ビルド・グリーンのカテゴリー

グリーン・コードに遵守した建物
土地と水
エネルギー効率
ヘルス・室内空気の質
資材効率
環境へのフレンドリーさ

ロジャー氏設計による小さなセカンド･ハウス（ワシントン州）。環境保護の為、既存の土地や建材の再利用するサスティナブル理論の実践例。

日本国内においても20年以上の経験を持つ建築家として、日本の中所得層核家族の住宅市場の成長と2×4工法やプラットフォーム工法のブームを目撃してきた。またその後の厳しい景気後退により、会社の清算を余儀なくされた顧客もいる。幾つかの強い企業は、この景気小康状態の期間を企画や新しいアプローチを研究・開発する時間に充て、現在、各企業独自の住宅に新しいアイデアと安全、快適を求める消費者のニーズに応えている。また政府はより健康的な室内環境、きれいな水、空気やエネルギー効率の向上を定めた。

私の顧客だけでなく、多くの人々が以下のポイントをデザインや住宅の建築、土地開発、集合住宅建築などに応用したいと考えている。これらのポイントは住宅のサスティナビリティーだけでなくその審美性をも増すことができる。

下記のポイントはシステムの1例である。これらの項目の幾つかは建物や開発地などの全体的な事柄を指しているが、基本的な項目は建築過程において、天然資源を節約・代替することにある。下記のリストは中堅・大手のホームビルダーが実践可能な項目を挙げている。注文住宅ではより適用しやすいので、中小ビルダーはもっと長いリストから実践することができる。

1. サスティナブル・サイト（土地）

地質侵食：侵食をコントロールし、水・空気汚染の影響を抑える。

開発密度：
- グリーン･フィールドを保護する。
- 水路の確保。
- 開発の密度を1エーカーにつき60,000平方フィートにする。（1ヘクターにつき14,000平米）

複数の交通手段：

車両による公害と土地開発への影響の削減
- 現場を鉄道から4km以内、もしくはバス停から4km以内とする。
- 全住居者の15%が駐輪できる安全で屋根のある自転車置き場を確保する。

大雨で発生する大量の雨水の管理：
- 雨水管理システムを設置する。雨水により土が流されて小川や河川に入り込み水質と生態系に影響を及ぼすことを防ぐ。

ヒートアイランドの影響：
- 透過する舗装の交差点、歩道や私道を造る。

光公害：
- 外部照明のレベルを下げる。
- 外部照明器具は覆うか、自動オフ装置を付ける。

2. 水効率

水効率の良いランドスケーピング：
- 高性能の灌漑システムの採用。

革新的な排水テクノロジー：
- その土地の帯水層の再供給を高める一方、排水と補給水の需要の発生を減らす。
- 下水用に水道飲料水の使用を減らす。

水使用の削減：
- 標準より水の使用を20% 削減する（灌漑用水は含まず）。

3. エネルギーと環境

HVAC（熱交換型強制換気）システム内のゼロCFC（フロンガス）の冷却剤使用。

エネルギー性能の最大限活用：
- その地域でのスタンダード基準を上回るレベルのエネルギー効率性を確保する。5%から60%まで、それぞれ1から10ポイントの追加。
- エネルギー・スター tmマークの電気器具を使用する。
- タングステン（金属元素）の電球フィラメント・ランプを排除する。
- 公共のエリアには感知式のほの暗いランプを取り付ける。

4. 資材と資源

倉庫とリサイクル用製品の収集：
- リサイクル可能な製品を収集できるエリアを確保する。

建設系廃棄物：
- 埋め立て地に埋められるゴミの量を削減する。再生利用できる材料は製造過程に戻す。再利用可能な材料を再利用する。

資源の再利用：
- 建物の5%に廃材・リサイクル材もしくは中古材を使用する。
- 上記10%の使用であれば追加ポイントあり。

リサイクルされた内容：
- 50%の工業系リサイクル品と消費者系リサイクル品を、少なくとも全資材の総価値の5%に使用する。
- 上記10%の使用であれば追加ポイントあり。
- 上記20%の使用であれば追加ポイントあり。

短期再生利用可能な資源：
- 建物の総価値の5%に10年以内の周期で収穫・製造される材料や製品を使用する。

認証された木材：
- 全ての木材系材料や製品の50%以上は認証された木材を使用する。

5. 室内環境の質

CO_2（二酸化炭素）のモニタリング：
- CO_2のモニターシステムを取付ける。

有効換気量：
- 換気回数0.9回/h以上の24時間自動換気設備を取付ける。

低発揮性資材：
- 低 VOC （揮発有機化合物）性 の接着剤や密封剤、ペイントやコーティングを使用。
- カーペットは、カーペット・アンド・ラグ・インスティチュートのL IAQ プログラムをクリアしたものを使用する。
- 集成材などの合成木材やファイバー製品には尿素ホルムアルデヒド樹脂を含まない物を使用する。

システムのコントロール性：
- 18.5平米につき、開放可能な窓1枚と照明コントロールを確保する。

日中の太陽光と景色：
- 倉庫とバスルーム以外の占有スペースの90%から、常に野外が視野に入るようにする。

上記の他にも米国では幾つかのサスティナブル・ビルディング・プログラムがあるが、一般的にそれらは第三者によって客観的に指導されておらず、また省エネ暖房や電気設備などのある特定の分野にだけに焦点が当てられている。ここに書かれているプログラムは、責任あるデザインと建築を企画するための貴重なリストを提供している。これらのリストにより、日本の住宅建設業界がサスティナブル・プログラムを理解し、採用しやすくなる。今現在では、個々の企業が独自のグリーン・ビルディングのプロセスを採用しているのが現状だ。

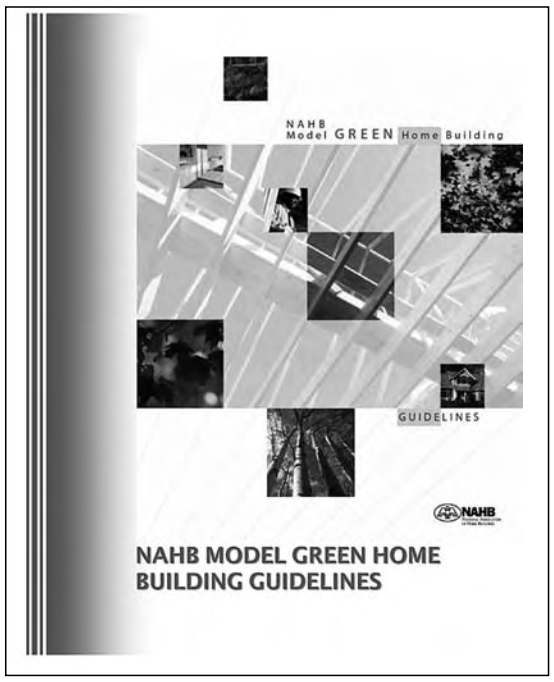
このシステムは、今現在実行可能な要素の延長でしかない。今後これらの先駆的なアイデアが広まり、世界中の人々の関心が高まると同時に、住宅や製品を提供する企業の関心も高まるであろう。

メーカー直アウトレット価格の輸入建材なら、
www.kenzaioutlet.com
サイト上には
限定セール品
コーナーもあり!
MK USA INC ™
A GLOBAL BUILDING PRODUCTS COMPANY
お問い合せや
見積りは、田村まで
お気軽にどうぞ
田村 玄太
Tel:425-656-0417　FAX:425-656-0418
Eメール:mkusa2@msn.com

グリーン・ビルディングの新ガイドライン

（環境に配慮した建築）

NAHB（米国ナショナル・ホームビルダーズ・アソシエーション）が発表



2005年1月に米国フロリダ州で開催されたNAHBインターナショナル・ホームビルダーズ・ショーにおいて、NAHBは自主的に、グリーン・ビルディング（環境に配慮した建築）の新ガイドラインを発表した。このガイドラインは、主流のビルダーが環境を考慮した作業・行程・材料選択を建築のあらゆる段階に組み入れることを援助することを目的とし、同時にその住宅が経済的に建築されることを重点としている。

ガイドラインは裕福な顧客のための高価な戸建注文住宅を手掛けるビルダーだけではなく、すべてのビルダーのためのものだ。またこのガイドラインは一世帯の新築住宅のためのものだが、同時に複数世帯のための住宅、注文住宅や既存の住宅の改修（リモデル）工事に応用できるものである。

このガイドラインを米国全土で実施するため、グリーン・ビルド・イニシャティブ（The Green Initiative（GBI））と呼ばれる新しい組織が設立された。この組織は非営利で運営される教育を目的とする協会であり、地域のビルダーに効率的エネルギーと環境面で持続可能な住宅建築の情報を供給する組織である。

ガイドラインは次の6つの主な項目からなる。

1. ロット（敷地）準備とデザイン：基礎が作られる前に綿密に計画を行うことで、家の建築による、土壌・造園（植物）・水資源への影響を最小限に抑えることができる。同時に家の長期にわたる効率性能を高めることもできる。

2. 資源の有効活用：建築材料の使用を最適化するために有効なフレームの組み方、住宅デザインのガイドラインを説明している。建築による廃棄物の処理方法についても説明しており、さらに建築材料がどう使用されているかが家の耐久性、メンテナンスに必要な時間とコストにどう影響するかという情報も加わっている。

3. エネルギー効率：これはグリーン・ビルディングに関する事柄の中でもっとも数値として説明できる部分である。この項での情報は、ビルダーが建物を建設し、省エネルギー機械システム、設備器具、および照明機器を組み込むにあたり、それらが長期間にわたり光熱費の節約と快適さを提供する家にするためのものとなっている。

4. 水の効率的使用と節約：室内・室外での水の使用のガイドラインは、ホームオーナーに向けたもので、水の使用量の低減・水道料金の節約のためのものとなっている。

5. 室内の快適さと室内環境クオリティー：これらのガイドラインはホームオーナーのために、快適で健康な屋内の居住環境を実現するためにはどのように湿気、換気、および他の問題を効果的に管理するかを示している。

6. 住宅の住み方、メンテナンス管理、およびホームオーナー教育：これらのガイドラインは、ビルダーが様々な住宅所有に関わる事柄をホームオーナーに教育することをサポートするものとなっている。

この自発的なグリーン・ビルディング（環境に配慮した建築）のガイドラインは、この急速に成長している要素（環境に配慮した建築）に関心があるすべてのビルダーのためのものである。多くのビルダーは、既にいくつかのプロジェクトに組み入れている。このNAHBによる自発的な新ガイドラインは、環境を考慮したデザインと建築過程を体系化して理解することに役立ち、またビルダーが経済的で環境を考慮した作業・行程・材料選択を建築に組み入れやすくなる。ガイドラインに関する詳しい情報は、www.nahb.org/gbgでダウンロード可能（無料）である。

アメリカン・リアル・ウッド・デザイン

インテリアをデザインする時、創造性が制限されるのは、設計過程であなた自身がそれを持ち込むからです。インテリアの潜在的な可能性を十分認識するために、心を白紙にして取りかかりましょう。

先入観はあなたの思考を曇らせるだけです。また、想像力に頼ったアプローチも避けましょう。例えば、節のあるパイン材を考えるとき、何を思い浮かべますか。山小屋ですか、それともニスを厚く塗った壁が放つ、ヨード色の光に包まれた'50年代調の地下のゲストルームですか。もしそうなら、それは偏見というものです。肯定的なことを探求し、ユニークな効果を引き出しましょう。散在する節でさえも、素材のデザイン要素になります。節のある等級の板材の自然な模様は、高くて窓のない壁の重たい印象を和らげます。

モダンデザインを導入したデ・スティル運動の創始者であるヘンドリック・ベルラーゲによれば、壁面は、その素材の性質ばかりでなく、装飾によって損なわれない強さと支点機能をも表現しなければなりません。

しかし、節がシートカバーの模様や装飾スタイルにそぐわない場合は、どうしたらよいでしょうか。ともかく、これは深く研究する価値のある素材です。

パネリング板材には多用な肌理、模様、色が揃っています。

クイーン・アン様式のエレガンス、シェーカー様式の質素、ルイ14世風の伝統的な魅力など、あらゆるモチーフを受け入れる古典的な壁仕上げがあります。ハイスタイルなモールディングの、層を成す豊かさや贅沢な腰羽目から、皿棚や腰なげしの簡素な動きのあるアクセントまで。どのように扱うにせよ、時代の感覚を正確に表現することができます。また、それらは解釈に忠実であるため、周囲と調和します。

木材を使って洗練された視覚的アプローチをする利点についても、多様な応用が考えられます。もし、節が目障りなら、白の上塗り剤で、ほのかに見える程度にぼかします。微妙であることが、洗練されたデザインに共通する特徴であることを忘れないことです。

濃いステインを使った木材が豊かで親密な雰囲気を醸し出し、グレーと真鍮色のアクセントと好対照を見せています。全体として、非常に注意深く焦点を合わせた内装の集合であると言えます。

色

すべての視覚要素の中で、色ほど直接的なインパクトを持つものはありません。使うにしろ使わないにしろ、色は空間を表現形態に翻訳する究極の手段です。

確かに、色彩効果に言及する際、色彩にはアースカラーの親密な単純性、パステルカラーの軽い繊細さ、原色の生命力、中間色の従順な洗練といった様々な解釈上の価値が付加されます。

色彩の持つユニークな特性、すなわち自然を模倣し、心理学的な反応を引き出す象徴能力が、個々の設計に固有のムードを与えます。

しかしながら、色彩の選択は完全に個人の好みに依存しています。また、ある人にとって視覚的に調和する色彩も、異なる色彩感覚を持つ人には調和しないように見えることもあります。行動色彩学者はこれを示す用語を持っており、色彩に対する「主観的な傾向」と呼ばれています。

ここで重要なことは、いかにうまくコーディネートされた色彩計画も、住む人の個性が合わなければ、美的統一の意味がないということです。

ですから、カラー板材やそれに合った模様について実験をする前に、ライフスタイル、個性の

ラフ仕上げのままの、節のある板材が、カジュアルなスキーロッジの雰囲気を演出し、各部屋のデザイン処理に統一した印象を与えています。

特徴、趣味、好きなコレクション、季節、地理、色彩の好みといった主観的なプロフィールを作り上げるようにしましょう。これらは住む人の性格を反映しており、アイデンティティを確立する上で役に立つものです。

テクスチャー

テクスチャーはしばしば見過ごされる微妙なものですが、これも同様に、部屋の全体的な効果を増すきわめて感性的な要素です。

色彩がそれを際立たせる色相、色価、強弱がなければ単調になるのと同じく、テクスチャーの深みがなければ精彩を欠きます。

このような場合にこそ、本物の木材によるパネリングか調和をもたらすのです。

木目調の感じは上品な艶仕上げのすずやかに磨かれたエレガンスから、鉋（かんな）がけをしていない天然板材の控えめな暖かみと素直さまで、触覚スペクトルの全域をカバーしています。

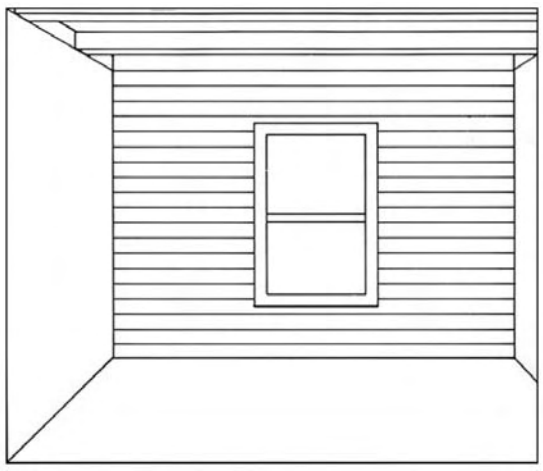
しかし、荒削りの天然木材には注意が必要です。強い指向性照明は表面のテクスチャーを陰影のあるリリーフに変え、壁の色価を高めます。また、木材は、たとえ目止めやステイン処理をしても、年月とともに黒ずんでしまいます。ですから、壁の表面や目立ち具合については、これらの効果が相まって、部屋をかなり狭く見せることになるということを覚えておいてください。

ここにルールがあります。極めて光沢のあるエリアは天井だけに留める方が賢明です。これは、まぶしい光を目の高さより上の位置に置くと同時に、鏡のような広がりを作り出します。

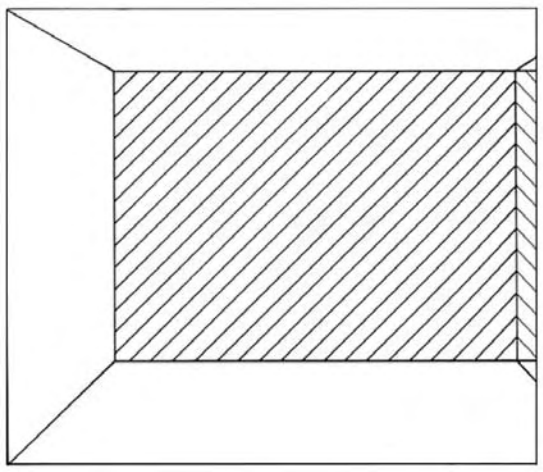
最後に、鉋をかけていない板材を張った壁の吸収力を見過ごすことはできません。

それは、騒音の響きを鎮めます。しかし反対に、この種の壁は料理やタバコの煙を特によく吸収するという特徴があります。実践的な見地から、スペースが狭い場合には、換気が十分であることを確認しましょう。

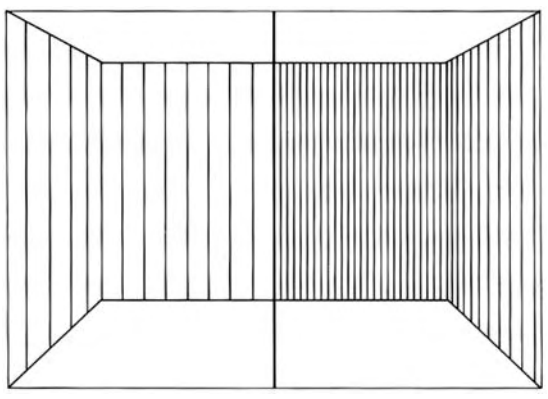
模様



板材の模様、梁、模様のある床張りで水平性を強調することによって、視覚が外部に向けられ、狭い空間をより広く見せることができます。



対角線が鏡面に反射すると、実際より広くて高いような錯覚を与えます。反対側の壁を強い色で塗れば、広がりの効果を効果的にバランスさせることができます。



垂直にＶ字型の溝がつけられたパターンは、天井を高く見せる効果があります。板材のつなぎ目とつなぎ目の間に第２の溝があるものは、パターンの幅がもっと狭く、半分に見えるので、より狭い部屋に向きます。

色彩が雰囲気を決定し、テクスチャーが快適さを高めるのと同様に、模様は構成に視覚上の統一感、流れ、リズムを与えます。花模様、幾何学模様、抽象的な模様など、印刷された芸術的効果の間では、飾り気のない静的なインテリアがダイナミックで双方向的な背景になります。

しかし、コーディネートされた色彩計画やスタイリッシュなデザインを提供するのとは異なり、模様は部屋の空間的な様相を変えるために使われます。ここでこそ、ウッドボードを使って方向を強調することが最も効果を発揮します。

ウエスタン・ウッドの多面性

透明仕上げによる輝きの下には、木材自体の美しさが眠っています。もちろん、どの種も独自の特徴を示しています。ソフトウッド系のウエスタン・ウッドに関する限り、バラエティーに富み、幅広い選択の余地が残されています。透明仕上げの素朴な純粋性から木目、節、ステインの条痕などの複雑な模様まで、あらゆるものがあります。

ウエスタン・ウッドはまた、その固有の色合いによって互いに区別することができます。

例えば、エンゲルマン・スプルースやアイダホ・ホワイト・パインなど、最も淡い色の樹種には、クリームがかかった白から、シナモン色の筋のある麦わら色やはちみつ色に至る多様性があります。

中間トーンの樹種には、ポンデローサ・パイン、シュガー・パイン、ロッジポール・パインのほか、ヘム・ファーの大部分が含まれます。これらの木材はまた、木目が一層はっきりとしています。

最も赤みがかかったものには、芳香を放つ杉であるウェスタン・レッドやインセンス・シダーなどがあります。また、最も強いソフトウッドは、ウェスタン･ラーチとダグラス・ファーです。

これらの樹種の中から選択する場合には、機械細工のしやすさ、樹脂や湿気の含有量、木材繊維の密度と配置、裂けにくさなど、その他の特徴も覚えておくことも大切です。

上記のウェスタン・ウッドに関するお問い合わせはアメリカ針葉樹協議会の東京事務所、またはオレゴン州ポートランドのＷＷＰＡ本部まで。

アメリカ針葉樹協議会（ASJO）
〒107-0052
東京都港区赤坂1-1-14　東信溜池ビル８階
Tel: 03-3589-1320　Fax: 03-3589-1560
URL: http://www.americansoftwoods.jp/

International Department Western Wood Products Association
552 SW 5th Ave. Portland, OR 97204-2122 USA
Tel: 1-503-224-3934　Fax: 1-503-224-3930
URL: http://www.wwpa.org/

パック・リムが供給する北米輸入建材の
コンテナ海上運賃が無料に!

Yokohama JAPAN ◀ $0.00 ◀ Seattle U.S.A.

パックリム発・輸入建材の定期便 エスパーの海上運賃を無料でお試し頂ける絶好のチャンスです!

海上運賃・無料サービスは、パック・リムで建築部材を総額＄500 以上ご購入のお客様が、初めてエスパー便をご利用される際に限り有効な特典です。
ご購入頂いた建材の最大15㎥ までの海上運賃費が無料となります。適用期限は、2005 年 12月のエスパー便・年内最終便の利用までとさせて頂きます。

about ESPER エスパー便 サービスの概要

エスパー便 は、**2 週間毎に 1 便** パックリムのコンテナ・ヤードから横浜港 I.W.S. 倉庫に向け出向する**混載コンテナ定期便**サービスの愛称です。コンテナ船による海上輸送は、**海外宅配便や航空便で輸送できないサイズ・品目・重量の建材の輸入**に適しています。又、積載する建材の容積・重量に応じ、**割引単価表から簡単に算出**できる**リーズナブルかつ明瞭な料金体系**を採用しました。
日本の現場でパック・リム発の輸入建材をより身近にご利用して頂く為の流通サービスです。

by ESPER エスパー便で 輸入建材フル活用。

実際の利用例 は、ご利用者各位で様々ですが、比較的よく見られるのは、

- **少量ロット・アイテムの輸入**
  追加変更部材、商品サンプル、消耗品、専門工具等の単発的な輸入に利用。
- **汎用部材のロジスティック**
  モールディング類、室内ドア、床材等、汎用部材ストックの定期的補充に利用。
- **小規模プロジェクトへの適用**
  増改築・ガーデニング・店舗の内装等短期工事や小規模プロジェクトに適用。

まだまだ、これからもアイデア次第で新しい活用事例が期待できそうです。

and ESPER 日本の現場で役立つ モノ・知恵・仕組み。

信頼の絆は、**日本の現場を熟知**した**コンソリデーター**（建材卸流通業）のパック・リムによる**サポート体制です。**

- **テクニカル サポート**
  設計段階のアドバイス、現場での施工指導等、日本常駐スタッフが対応。
- **ロジスティック サポート**
  現場状況・工程、部材搬入、倉庫保管等、お客様の利益最大化に貢献します。
- **日本語対応サポート**
  米国本社は、日本語対応スタッフ数人が常駐し電話＆FAXにお応えします。

20年間にわたり日本で築き続けた信頼と実績がパック・リムの誇りです。

"WE MAKE FRIENDS WITH EVERY SALE."
PAC-RIM BUILDING SUPPLY, INC.
http://www.pacrimbuilding.com

Information

資料請求・取扱商品・建材の直輸入・エスパー便・その他パック・リムへのお問合せは右記までお願い致します。

どうぞお気軽に日本の建築用語で下記連絡先までお問合わせください。
シアトルと日本との時差は－17時間です。FAX・E-mailが便利です。

Telephone 国際電話番号＋ 1 - 425 - 251- 3700
Facsimile 国際電話番号＋ 1 - 425 - 251- 0334
e mail addrres sales@pacrimbuilding.com
Contact Person Jiro Akita 担当／秋田 二郎

3901 Raymond Ave. S.W. , Renton, WA 98055 USA Phone 425-251-3700 Fax 425-251-0334 e mail sales@pacrimbuilding.com

魅惑の木製ドア

4683

6404

4390

1912年の創業以来、シンプソン社は高品質の木製ドアをデザイン、製造し、世界中のお客様に提供して参りました。

日本でも、シンプソン社のドアは、その自然な美しさと性能で高い評価を得ております。

当社の魅力あふれるドアのお問い合わせはファックスにて下記番号へご連絡ください。

Simpson®
M·A·S·T·E·R·M·A·R·K®
HANDCRAFTED DOORS FOR AMERICA'S FINE HOMES

www.simpsondoor.com
1-360-495-3291

～Meet EBPA～

野呂　恵史（のろ　けいし）
オーウェンス・コーニング・ジャパン（株）建材部営業部長
15年以上、輸入建材業界に携わる。７年間、タコマのコンソリデータ、ジョンソングループに在籍。
インテリアコーディネーター兼キッチンスペシャリスト。
〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-9 3F
Tel: 03-5733-1676　Fax: 03-5733-1677
Email: keishi.noro@owenscorning.com

Company Profile：（会社概要）
　同社はオハイオ州に本社を置き、ガラス複合資材及び各種建築資材の分野で世界的リーダー的役割を担ってきた会社です。製造工場、販売拠点、研究施設は世界30カ国以上にまたがっています。建築資材部門は、全米トップブランドのファイバーグラスシングル屋根材を始め、カルチャードストーン外壁材、樹脂サイディング、各種断熱材、音響コントロールシステムなどを製造販売しています。

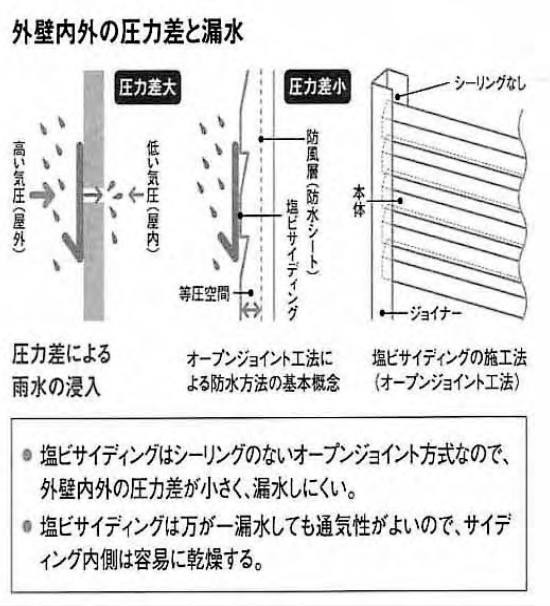
　本日はエバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA）のメンバーであるオーウェンス・コーニング・ジャパン株式会社、建材部営業部長の野呂さんに、その主力製品のひとつである「樹脂サイディング」についてのお話をうかがいました。

EBPA 梶田：アメリカでの「樹脂サイディング」の普及率について教えてください。

野呂：現在、樹脂製の外装材としては、主に塩化ビニル樹脂製とプロピレン樹脂製の２種類が製造されており、どちらもアメリカで開発されたものですが、アメリカにおいて通常「樹脂サイディング」とよばれるものは塩化ビニール樹脂製ですので、以下ではこの説明をいたします。この「樹脂サイディング」は1965年アメリカで製造がはじまり、アメリカ・カナダにて特に1990年代に急速に普及しました。現在では、さらに普及し新築戸建て住宅において使われる外装材において、アメリカでは約51％、カナダでは約70％にこの樹脂サイディングが使われています。市場規模としては、735Km2で、東京都23区の約1.2倍です。しかもこの率はさらに伸びています。また米国リフォーム市場では約75％のシェアを占めています。参考ですが、業界団体としてアメリカにはビニール・サイディング・インスティテュートがあります。
www.vinysiding.org

EBPA 梶田：これほど広く普及しているのはなぜでしょうか？

野呂：
主な理由を述べますと次の事があげられます。
１．コーキングに頼らない「オープン・ジョイント工法」で施工できるということです。シーリングのない方式で外壁内外の圧力差が小さく漏水しにくく、万が一、漏水しても給水率は０％、また撥水性能が極めて高いため壁の内側は常に乾燥しています。この結果、内部結露が起きにくくなります。



２．塩害、凍害、雪害に強く、雨仕舞いが良く経年変化がほとんどありません。このため、寒冷地、積雪地に非常に適した外壁材であることが日本でも見直されてきています。

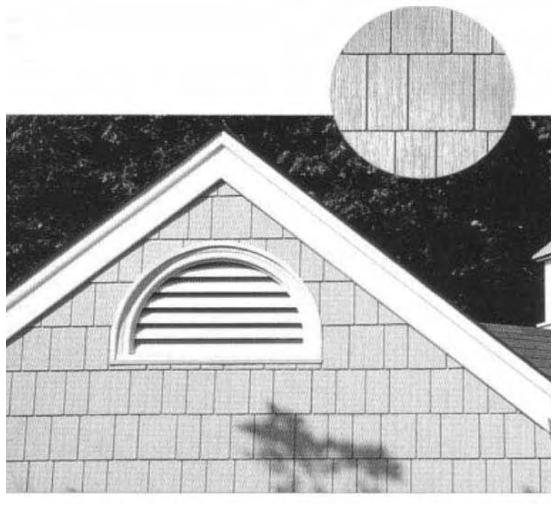
３．窯業系サイディングの施工には、劣化が気になるコーキングが必要となりますが、樹脂サイディングはコーキングを必要としません。また寒冷地では水分が[凍る→解ける→凍る]という循環があるため、窯業系サイディングでは問題が生じることがあります。

EBPA 梶田：樹脂サイディングの外装材としての特徴は何ですか？

野呂：上記で述べました樹脂サイディングの普及理由と重複しますが、次の点が特徴となります。
１．　耐久性が高いため長寿命
２．　衝撃に強い（弾力性・復元力がある）
３．　軽いため施工しやすい
４．　雨仕舞いがよい
５．　メンテナンスが簡単
６．　リサイクル可能
その他、塩害に強い、錆びない（乾燥性が良い）、凍害がない、剥げない等の他、その耐久性からひいては家屋を長持ちさせることで、地球環境適合性に優れているという特徴があります。

EBPA 梶田：オーウェンスコーニング社の製品にはどのような特徴がありますか？

野呂：オーウェンスコーニングでは、２００４年度に２ｘ４工法で石膏ボードと組み合わせることにより防火試験を終了させています。また今年度中に在来工法でも防火認定の申請を予定しています。
更に、製品の色調（木目調・カラー）やデザインに幅があり、伝統的な「下見板貼りタイプ」から「天然木目色調タイプ」、「シェーカータイプ」（杉板貼り風）、「スカラップタイプ」（うろこ貼り風）など豊富です。
　日本では1980年代に数社がアメリカからの



輸入品での販売を試みましたが、普及するまでには至りませんでした。（オーウェンスコーニングは唯一アジア市場（中国の大連）に工場を持つため、日本のお客様には安く早く出荷できます。また中国からの輸入関税率はフリーです。製品は日本の販売店を通じて流通しています。（販売店を募集中です。））その後、1990年代にメーカー数社が本格的な販売を開始し、国産化するなどして、近年になって樹脂サイディングの良さが次第に理解されるようになりました。現在では主に、リフォーム用外装材として全国的に採用が増えています。樹脂サイディングの一番の特徴は、耐久性が極めて優れていることです。今後長寿命住宅が望まれる日本の住宅用外装材として、ますます普及することが期待されます。

EBPA 梶田：本日はありがとうございました。

日本の商業用施設における北米木製窓の適用性

北米の木製窓は、今まで日本においては比較的小さな2×4輸入住宅市場を中心に使用されてきた。この市場が今日ますます競争の激しいものとなり、各窓メーカーは事業の拡大のため新しいビジネスチャンスを狙っている。

つい近年まで、3階以上の商業用建築物には、20分間の防火試験をクリアーした商業用認定取得窓しか使用できなかった。この商業用認定の基準やテスト方法は住宅用認定と同じであるのだが、別途商業用認定窓の使用が義務付けられていた。このような規制は現在緩和されているが、その規制内容は未だもって大変複雑を極めている。このような規制をナビゲートできる企業にとっては、未開拓のビジネスチャンスを生み得ることとなる。

日本のビルダーが北米の木製窓を使用することには多くの利点がある。日本では従来アルミニウム窓を多く使用してきた。現在の日本の窓市場を見ると、アルミ窓のシェアは89％を占め、木製窓は1％に過ぎない。その1％の木製窓市場のうち、78％が輸入窓で、国産品は22％となっている。しかし、アルミニウム製品を使用する際は通常構造的な補強が必要で、建築価格を引き上げる要因ともなっていた。スタンダードな輸入木製窓は、取付が適切に行われていれば、商業建築物のニーズに最適な製品である。アメリカなどの欧米地域では、木製窓のシェアが一番大きい。

アルミクラッド窓・木製窓を採用することにより、審美性が増し、カラーの選択肢も増え、結露の問題も少なくなる。またアルミニウム窓に比べてヘルシーで且つ環境に良い。また木はアルミと比べて約1,200倍も熱が伝わりにくい。

以前は高級商業プロジェクトにはあまり多くの高価値窓の選択肢がなかった。ペラ・コーポレーションでは、この市場区分において近年成功を収めている。ペラの窓やドアは、日本国内においてアパートや病院、レストラン、コンドニミアム、軽商業施設などに採用され、高く評価されている。大きな要因としては、上記に述べたような審美性やカラーバリエーション、高断熱ペアガラス、防火認定等に加え、取り付け方法を改善したことで、日本のビルダーや木製窓製造業者にとって扱いやすい製品となったことである。また製品流通業者による細やかな対応、現場サポート、アフターサービスは重要である。

もちろん木製窓には、ある一定のカーテンウォール使用に限られるなどの制限があるが、全体的には日本の商業建築市場において今後益々木製窓が採用される機会は自然と増していくだろう。

ペラ・コーポレーション概要

世界で２番目の最大規模を誇る、1925年設立の窓とドアの老舗メーカー。８工場に8,000人を超える従業員を抱え、世界12カ国に輸出している。2000年には日本の防火認定を取得、プロライン・デザイナー・アーキテクトの３つの商品シリーズから幅広い商品を提供。お問合わせは、当州政府又は同社海外営業部長 クリス・ネルソン氏まで。
（TEL：03-3701-2382　FAX：03-3701-2413　Eメール：csnelson@pella.com 日本語可）

マナーク・ホールディングスが ハード・ミルワークを買収

マナーク・ホールディングス株式会社（MONARCH Holdings,Inc.：メドフォード・ウィスコンシン州）は2004年12月3日までにハード・ミルワーク株式会社を買収し、今後は「ハード・ウィンドウ・ドアーズ株式会社（HWDI）」となる。

同社には、ラリー・R・ハバーマン氏が新社長として就任する。彼はトゥルース・ハードウェア社のヴァイス・プレジデントとしての経験と、営業・マーケティング担当としての20年間の経験を含む、26年のキャリアを今後の経営に活かしてゆく。彼は過去8年半の間、マナーク・ホールディング社の社長で、今後その役職も同様に継続する。

旧経営陣5人中4人が交代し、新しく就任した役員は下記の通り。

■ギャラリー・レクス氏：アドミニストレーション担当ヴァイス・プレジデント。20数年の業務最高責任者（COO）としての経験を持つ。

■ジョー・ハーマン氏：営業・マーケティング担当ヴァイス・プレジデント。以前メドフォード地区在住。営業・マーケティングから、製造に至るまで、幅広い経験を持つ。

■デイビット・コッケンドーファー氏：オペレーション担当ヴァイス・プレジデント。やはり以前メドフォード地区在住。地元の窓製造メーカーでの経験を含む、製造分野において長年の幅広い経験を持つ。

マナーク・ホールディングスは、デイブ・マケーヒ氏がトップを勤める、プライベート企業である。彼らの経営理念は、働きやすい職場環境の中で、顧客満足に重点を置く一方、製品改良や製造工程、全体の業務運営の改善を推進する半自治的な業務運営である。彼らの特筆すべき点は今日、他の多くの窓製造メーカーでは見られない、自分たちのビジネスを長期保存するというポリシーだ。

同社のジャパンレプレゼンティティブも交代、新しく片山健太郎氏が就任した。

連絡先：千葉県市川市東菅野1-16-26-102
phone：047-325-0571
fax：047-325-1208
e-mail：has54230@snow.odn.ne.jp

同社の片山健太郎氏（右）とアル・フーター氏（左）

特定非営利活動法人（NPO）日本ティンバーフレーム協会

富津研修センター（ショールームオープン）

当協会は、平成12年から任意団体として活動を開始していましたが、平成15年9月に東京都のNPO法人認定を受けました。
貴重な資源「木材」の永年使用と再生活用をテーマに、「ティンバーフレーム」を中心としたエコロジー資材の活用方法セミナーを全国各地で開催しています。また、実際の完成物件の現場見学会等で多くの方々にご案内しています。

当協会の活動は、次の項目を基本にしています。
1、伝統文化の調査研究　（古民家の移築）
2、伝統技術の継承　　（神社 仏閣の匠）
3、自然環境保護に関する普及・啓蒙

上記に関る活動をより広く展開するために、千葉県富津市に富津研修センター（ゲストハウスと製作作業場）が昨年末 完成しました。

富津研修センター外観
左側：ゲストハウス　右側：製作作業場

ゲストハウスの構造は、素材そのままの柱と梁の特徴を生かした シンプルな空間になっています。
ワシントン州のダグラスファーを現地で、ティンバーフレームに加工した製品です。

ゲストハウス内観（リビング）

製作作業場は 構造にイエロー・シーダー（ひば）を使用し、壁は下地素材を見えるように スケルトンスタイルにしています。

製作作業場の内観

当研修センターのご利用者の方々は、建物の基本設計から施工・資材選び等を、設計家・専門家の紹介・アテンド・アドバイスが受けられます。

尚、当研修センターの利用は予約制になっています。

"ティンバーフレームとは"

ティンバーフレームとは、製材した木材にほぞ（凸）と仕口（凹）を施し木の釘（込め栓、木栓）で固定し 柱と梁を組み込めていく堅固な住宅工法です。.
この工法を当協会主催のセミナーなどの参加により興味を抱いていただき、K氏は軽井沢に別荘を、H氏は川崎に2階建て１８世帯の集合住宅を、その他個人住宅等に取り入れていただきました。

ほぞ組に木栓加工のティンバーフレーム

ティンバーフレームの説明として、そのよさについて寄せられるQ&Aの一部をご紹介いたします。

Q：ティンバーフレームを選んだ理由は？

A：～作り手編～
（アメリカTC社社長）「創る安心」
手掛けたきっかけは幾つかの工法に携わっていくうちに、「魂」のある家、もっと丁寧に・もっと長持ちし・もっと安心感を与える家としてティンバーフレームに着目しました。

A：～作り手編～
（国内KK社社長）「造って安心」
ティンバーフレームを建てる喜びは、レッカーを使って、地組された大きく重い骨組みを建ち上げるときの緊張感と組み上げが完了した時の達成感にあります。

A：～オーナー編～
（S氏）「見て安心」
セミナーに参加し、ホームページを確認の後、現場見学会で拝見し、一目見て堅牢さを感じました。
毎日過ごす我が家の空間は、構造計算や実験結果も必要な情報でしょうが、何より、自分が安心を感じることが出来ることが大事だと思いました。

A：～オーナー編～
（K氏）「さわって安心」
自然素材を無垢のまま使った健康住宅として、ティンバーフレームを選びました。
この家は、年々愛着と満足感が増し、毎日の掃除の時に 故郷のような なつかしさを感じさせてくれる安らぎの家です。
10年以上たった今も、玄関を空けた時の木の香りを楽しんでいます。

A：～オーナー編～
（O氏）「引き継ぐ安心」
ヨーロッパのティンバーフレームは何世代にも住み継がれていることを、セミナーで知りました。私たちはこの工法を次世代に引き継ぎたく、別荘に選びました。
別荘に行く度に自然な環境とのびのびとした空間を喜んでいる子供の笑顔で和みます。

八ヶ岳に建つ永住型住宅の上棟風景とインテリア

将来、時世代に安心して住み継がれる家だと思います。

これらのご意見は、セミナーなどでやり取りされた会話の一遍です。

“会員　募集中”

現在、協会の賛助会員は、全国各地の設計事務所・建設会社・建築資材販売会社・ボランティアなどから構成されています。
会員の実績紹介のひとつとして、建設会社のビデオやアルバム、材料の取り扱い品の資料やサンプルを製作作業場に常設しています。
会員になりますと、資料閲覧が出来、センターの開放利用もできます。
皆様の営業活動の場（モデルハウス見学）としてもご利用いただけます。

また、研修センターでは、構法の研究のため加工の実践活動を現地で行っています。多くの参加者により、伝統技術への理解も深まり、よりよい住宅環境の実現が可能になると考えております。ティンバーフレーム構法に興味を持っている方、お気軽に協会までお問合せください。

協会の目標実現のため、皆様の貴重なご意見を賜りますよう協会会員一同よりお願い申し上げます。

研修センター利用予約
その他の問合せ（セミナー、見学会、入会等）

受付：NPO日本ティンバーフレーム協会　事務局
受付時間：平日10:00～18:00
電話：03-5414-3562 ファックス：03-5414-3350
E-mail: info@timberframe.or.jp
Web-site: http://www.timberframe.or.jp

写真提供:Timbercraft社

American Houses 住宅視察ツアー

安めの7月出発

シアトルで2日間
＋1日オプション
（工場見学）

ストリート・オブ・
ドリームス（住宅展示）

注文戸建住宅

現地資材調達可

エバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA） 夏季住宅視察ツアー2005 in シアトル

7/18（月）・19（火）＋ 20（水）（オプション料金別途）
現地ツアー参加料（2日間プログラム）：37,500円

シアトル ストリートオブドリームス

住宅7棟を展示（販売価格約1億5千万円～2億7千万円）。最新の米国住宅を知るうえで外せない視察ポイント。ビルダーを交え、アメリカの最新デザイン、インテリア、建材、間取り、ランドスケーピングを見学。視察後、EBPA米国会員とのレセプション＆ミニ展示会でネットワーク作り。

戸建注文住宅

米国のベテラン建築家・ビルダーによる戸建住宅の見学案内。実際の物件を見学しながら、Q&Aを交え、アメリカ住宅の考え方や建築時のコンセプト、アイデアなどの奥深い部分までを説明してもらえる希少なチャンス。もちろん2日間とも日本語通訳付きなので安心。

7／20オプション　シアトル郊外住宅建材メーカーの工場見学ツアー

左記費用内訳：
ツアー中の
- 通訳・資料代
- 昼食・レセプション飲食代
- バス交通費
- 上記以外は別途手配可

その他、お申込方法やパッケージ旅行料金、キャンセル料等の詳細については、左下記までお問合わせ下さい。

お申込・お問い合わせ：
エバグリーン建築資材貿易振興会
日本事務所代表：梶田　章
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301
Tel: 03-3459-0898 Fax: **03-3459-0897**
Email: ebpa@mue.biglobe.ne.jp

お問い合せ FAX フォーム
会社名：
担当者名：
住所：
Tel&Fax

（1ページ上段からつづく）

ワシントン州政府とエバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA - 本部：ワシントン州タコマ市)も同州・及びEBPA会員メンバー企業

（左から）マーク･カルフーン氏（ワシントン州政府）、フレデリック・プロー氏（Lowes)、ラリー・クビデラ氏（EBPA)

の約50社と共に出展した。EBPAは日本と中国におけるマーケット・プログラムのプロモーションのため、ディスプレイブースに展示出展を行った。

EBPAの事務局長、ラリー・クビデラ氏

この展示会で展示紹介された新しい製品の要約は下記のとおり。

◆シンプソン・ドア・カンパニー社はマホガニードアの新ラインと、新コレクションのインテリアドアを展示。磁石素材から作られたチョークボード（黒板）ドア。（右記の記事参照）

◆ジェルドウェン社はスタイルや性能を一新した新しい製品ラインを特集。

◆ボッシュ･ホーム･アプリカンス社は限られたキッチンスペースを有効に活用するための450mm幅のディッシュウォッシャーを紹介。

◆コンタクト・ランバー社は、ナチュラルウッドでラップされたモールディング材を展示。ビルダーに無垢材を施工する際の手間をかけずに、部屋のモールディングやトリムに本物の木のテイストを加えることができる。

1,600社の出展社に関する詳しい情報は、www.buildersshow.com/vts にて、バーチャル・トレードショー体験が可能。
またインターナショナル・ビルダーズ・ショー2006 は、今年と同じくフロリダ州オーランドにて開催される。開催時期は1月11日（水）～14日（土）。
（http://www.buildersshow.com/orlando.shtml）

その他インターナショナル・ビルダーズ・ショー関連イベントは、アメリカン・インスティチュート・オブ・アーキテクツ・ナショナル・コンベンション & デザイン展で、2005年5月19日（木）～21日（土）にラスベガスにて開催される。
（http://www.aia.org/conferences/）

NAHB インターナショナル・ビルダーズ・ショーの今後の開催予定は次のとおり。

年	日程	開催場所
2006	1月11日(水)～14日(土)	フロリダ州オーランド
2007	2月7日(水)～10日(土)	ジョージア州アトランタ
2008	2月6日(水)～9日(土)	ジョージア州アトランタ
2009	1月20日(火)～23日(金)	ネバダ州ラスベガス
2010	1月19日(火)～22日(金)	ネバダ州ラスベガス
2011	1月14日(木)～17日(日)	フロリダ州オーランド
2012	1月13日(木)～16日(日)	フロリダ州オーランド

NEW AMERICAN HOME
―ニュー・アメリカン・ホーム―

ニュー・アメリカン・ホーム正面立面図（THE NEW AMERICAN HOME®）

全米ビルダーズ協会（NAHB）は、22年前から最新の建築方式や製品テクノロジーを駆使したモデル住宅「ニュー・アメリカン・ホーム（NAH)」を建設・展示している。これはその住宅に採用されているインドア･クオリティー、省エネ、安全、高資産価値やその他の要素を含む建築技術・コンセプト・資材・デザインなどが、その全体・一部に関わらず、実際に見学した来場者によって参考にされ、全米各地の建築現場で再現できるようにと建築されている。

今年のNAH住宅は、860㎡（約260坪）の床面積の内、565㎡はエアー・コンディション機能あり、その他295㎡はエアーコンディション機能なしの住宅で、省エネとヘルシーホームの建築技術が導入されている。従来の同床面積・同気候条件の住宅に比べ、冷暖房が47%、給湯が64%のエネルギー削減に成功している。また1992年に大被害をもたらしたハリケーン・アンドリューの後、2001年に改定されたフロリダ州の建築基準法の基準を大きくクリアーしている。この住宅の外観は、オーランド地域でよく見られるスパニッシュ・スタイルで、深く窪んだ窓、鉄細工、外まで突き出したティンバービームや数々の綺麗なアーチなど、細部はトスカーナ風のデザインとなっている。

NAH住宅のキッチンは、続き間のダイニングルームやパントリーへのアクセスの妨げにならないよう、設備収納型ですっきりしたデザインとなっている。窓はハード・ミルワーク・カンパニー（現在はハード・ウインドウズ・ドアーズ）社の製品で、アルミクラッドのケースメント、オーニングや特殊形状窓が採用されている。この住宅は「年齢を積み重ねていく場所」というコンセプトで子供からお年寄りまでが住みやすいデザインとなっている。その他のデザインの特色としては、主寝室、４つのベッドルーム、３つのリビングルーム、図書室、ゲームルーム、アウトドア・プライベート・コートヤードやスイミングプールなどがある。NAH住宅は、NAHBショーが開催されたオーランド・コンベンション･センターから15km程度の場所に位置し、NAHBショー開催期間中は同区間内のシャトルバスを運行し、多くのNAHBショー来場者が同住宅を見学した。

撮影：在大阪・神戸アメリカ総領事館　高畑上席商務専門官

左・マスターベッドルーム（THE NEW AMERICAN HOME®）
右・ダイニングルーム（THE NEW AMERICAN HOME®）

シンプソン・ドア・カンパニー
磁石チョークボードパネルドアを開発

子供と一緒にドアに落書きしてみませんか？

チョークボードパネルドア
(SIMPSON DOOR COMPANY)

シンプソン・ドア・カンパニーでは、この度インテリアドアの製品ラインに新しく磁石チョークボードパネルドアを加えました。このドアは製作段階で独特なプロセスを経て、エンジニアウッド枠とチョークボードを組み合わせています。この素材はチョークボードと同じ感覚で扱うことが出来ます。

子供部屋だけでなく、小さい子供が遊ぶキッチンやパントリーで親と一緒に絵を描いたり宿題する際に使ったり、また子供がいなくても家族同士のメッセージのやりとりやメモ代わりなどに使うことが出来ます。このチョークボードシリーズは3タイプのサイズから提供、お問合わせはシンプソンドア社（1-360-495-3291）または立共インターナショナル（075-672-3145）まで。

ワシントン州政府が発行する書籍一覧

ワシントン州政府では米国の工法や建材のご理解をいっそう深めていただき、皆様の事業に役立てていただくために下記の出版物をご用意しています。ご希望の方は下の資料請求申込書をご記入ください。

「在来工法のための輸入窓・ドア発注から、取付け・仕上げまで」

木造軸組工法における輸入窓とドアの発注・取付け・仕上げ方マニュアル

今まではツーバイフォー住宅に取付ける輸入窓・ドアという前提でしたが、そのデザイン、性能、価格面等から日本の消費者の人気を集める中で、在来工法でも輸入建材が比較的容易にご使用いただけることをセミナーで実践し、イラストや写真でわかりやすくテキストにまとめました。

「枠組作業と建設初期段階の大工仕事」

北米式ツーバイフォー工法に関心のある方々のための躯体工事マニュアル

フレーマー（枠組を専門に行う大工）のための基本的なテキストを探していた著者スコット・シンプソンが25年以上にわたる自らの経験を元に専門用語の意味からフレーマーの管理方法にいたるまでわかりやすく説明しています。

「輸入窓の取付け方：地域対応の耐水防湿対策」

ツーバイフォー工法における輸入窓の取付けに関する技術的詳細を含んだマニュアル

日本の気候に適した窓の種類や保管方法及び輸入窓の正しい取付け方が詳細に記載された資料です。全米窓・ドア生産者協会（WDMA）による検査基準に関するスライドも含まれています。

2004～2005年版「アメリカ住宅建材企業案内」無料頒布

ワシントン州は米国でも最大の住宅産業の規模を誇っており、日本への建材輸出量のうち、当州の占める割合は５０％以上を達しています。州内には米国を代表するメーカーやサプライヤーがサービスを展開しており、北米の最高レベルの建材や技術が集積しています。本誌には特に日本市場に積極的な企業の業種、取扱商品などの業務内容、事業規模、米国や日本での連絡先などの詳細が掲載されています。各社、日本人スタッフはもちろんのこと、日本に翻訳された資料やカタログの充実化に力を入れており、細やかな対応をしている企業ばかりです。皆様の業務にお役立てください。州政府のホームページでもご覧になれます。

ワシントン州政府日本事務所　活動スケジュール

＜3月1日（火）～4日（金）＞
建築・建材展2005
／東京ビッグサイト
小間番号AC5084
ワシントン州内及びEBPA会員企業の出展：キャスケード・コンポーネンツ・インク社・（株）ヤスダプロモーション・山宗製陶（株）

＜4月11日(月)～15日(金)＞
春期アメリカ住宅建材セミナー
開催地：八戸・盛岡・仙台・郡山・宇都宮
米国住宅・住宅建材の最新情報を紹介。企業による講演、ミニ展示会と個別商談会。
基調講演は、「輸入材を活用する現場管理（CM）のコツ」と「恒久住宅の現実を目指して」。

＜6月1日(水)～4日(土)＞
けんざい2005― 第18回総合建築材料・住宅設備展
／インテックス大阪４号館
ワシントン州内及びEBPA会員企業の出展

＜7月18日(月)・19日(火)＞
EBPA夏季住宅視察ツアー
シアトルのストリートオブドリームズやカスタムハウス見学、建材企業や輸出企業などと現地調達の商談も出来るレセプション開催。

「アメリカ建材・サービス企業案内」
2005－06版発行予定

「アメリカ住宅産業情報」
20号発行予定

＜10月＞
秋期アメリカ住宅建材セミナー
開催地：未定

＜11月8日(火)～11日(金)＞
ジャパンホーム＆ビルディングショー2005
／東京ビッグサイト
ワシントン州内及びEBPA会員企業の出展

＜11月17日(木)～19日(土)(予定)＞
ホームビルダーズ・エキスポ
OSAKA2005
／インテックス大阪
ワシントン州内及びEBPA会員企業の出展

資料請求　FAX申込書　米国ワシントン州政府日本事務所　FAX 03 - 3459 - 0897　e-mail：wsjoban@gol.com

「アメリカ住宅産業情報」の定期購読や下記資料の入手や掲載を希望される方は、必要事項をご記入の上、ワシントン州政府日本事務所までファックス、Eメールにてお申し込み下さい。

1.「アメリカ住宅産業情報」定期購読希望（無料　年に2回発行）
2.「在来工法のための輸入窓・ドア　発注から、取付け・仕上げまで」（2000円・送料別）
3.「枠組作業と建設初期段階の大工仕事」（2000円・送料別）
4.「輸入窓の取付け方：地域対応の耐水防湿対策」（2000円・送料別）
5.「アメリカ住宅建材企業案内2004～2005年版」（無料）
6. シックハウス対策の改正建築基準法に対応した企業リスト
7. 住宅建材セミナー申込書希望（上記参照）
8. 作品紹介　掲載希望（プロジェクトを募集中）
9. その他ご意見・ご要望

フリガナ	
会社名	担当者
フリガナ	
住　所　〒	
ＴＥＬ	E-mail
ＦＡＸ	
業　種　1. 建設施工会社　2. 建材卸会社　3. 商社・貿易会社　4. 建築設計事務所　5. 販売代理店　6. その他（　　）	

下記ページの広告にご関心のある方は印をつけて下さい。カタログ等お送りします。

□P1.山宗製陶株式会社　□P2.ウェスタン パシフィック
□P3.キャロリーク　□P5.MK USA
□P8.パックリムビルディングサプライ　□P9.シンプソン ドア
□P16.アームストロングホームズ

Made In the U.S.A.

Design デザイン
HVAC 全館換気・空調システム
Drywall ドライウォール仕上げ
ARMSYSTEM
ARMSTRONG

暮らしに優しい健康住宅
トータルヘルシーコンセプト

Design アメリカのライフスタイルをそのまま表現
Drywall 健康的な住空間をお届けします
HVAC 健康住宅だからこそ欠かせない全館換気空調システム

アームストロングだからできること―

外観や機能だけを形にした「ハウス」を建てることだけにとどまりません。

映画のワンシーンで見て以来、憧れていたアメリカのインテリア。

アームストロングだったら遊び心の詰まったアメリカの家具や小物をいっぱい取り入れた「ホーム」づくりが可能です。

シアトルであなたのお気に入りのアイテムを揃えてみませんか?

あなたの夢を叶えたい―

居るだけで料理が楽しくなるようなキッチン、友達が集まって楽しめるリビングルーム、夏の夜に星を眺めるロフト部屋。思いっきりわがままに、お気に入りの風景を色鮮やかに思い浮かべて下さい。アームストロングがあなたの夢をお手伝いします。

アームストロング加盟店だと・・・

- この欄に自社情報を入れてチラシ配布
- 「お施主様が直輸入」で粗利30%
- ドライウォール仕上げで健康住宅
- 家具や照明などインテリアまでも取扱可能
- FCのような入会金やロイヤリティーが無い
- シアトルの本社で技術セミナー
- 「売り方セミナー」で営業マン大助かり
- カタログからVCDまで販促ツール品揃い
- 協同広告で金銭負担を大幅削減
- 全国に仲間34社（2003年8月現在）
- 仲間コンテナ混載便で小ロット輸入も
- アメリカの建築家がプラン作成
- 通関や運搬などもアームストロングにお任せ*
- 棟上げもアームストロングにお任せ*
- モデルオープンに米国政府からバックアップ
- ETC、ETC、ETC、その他盛り沢山・・・

*PROTOシリーズの場合

お問い合わせは下記まで

www.armsystem.net
または米国内
TEL:1-253-833-6666日本語は内線317
FAX:1-253-833-5878
までお気軽にお問い合わせ下さい。

ARMSTRONG